

挑戦

自由民主党
前衆議院議員

むねきよ 皇一 こういち

高市早苗内閣総理大臣誕生

いつもお世話になり有難うございます。
目下、東大阪市各地を走り回り、沢山のご意見を伺っています。現職時代には「見えなかったこと」、「聞くことが出来なかったお声」に接することで原点に立ち返り、あらゆることに挑戦をし続けています。

さて、高市内閣が発足、新たな枠組みによる政権がスタートし、内外に山積する課題への挑戦が始まりました。

他方、もう一度信頼される「自由民主党」になるには、「政治は国民のもの」で始まる「綱領」に立ち返るべきです。私は、自由民主党を内部から変えていく。そのために、若い世代がもっと前面に出る。そして日本を動かしていく、その先頭に立つ決意です。高市総理を全力でお支えし、再び日本を強く、豊かな国にしていきたいと思います。今後とも皆様方の力強いご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

むねきよ皇一 プロフィール

昭和45年8月9日東大阪生まれ
昭和58年東大阪市玉川小学校卒業
昭和61年東大阪市玉川中学校卒業
平成元年大阪府立花園高等学校卒業
平成6年龍谷大学・文学部・文学科英文学卒業
平成6年民間企業に3年間勤務
平成9年塩川正十郎氏の秘書として仕える
平成19年大阪府議会議員選挙初当選（連続2期）
平成26年第47回衆議院議員総選挙初当選（連続3期）
令和2年経済産業担当大臣政務官・内閣府大臣政務官
令和3年内閣府大臣政務官・復興大臣政務官
自民党大阪府連会長就任

東大阪商工会議所 顧問
大阪府アーチェリー連盟 会長
大阪府印刷工業組合 政治顧問
近畿そろばん連合 顧問
東大阪市ソフトテニス協会 顧問
東大阪市テニス協会 名誉会長
東大阪市バスケットボール協会 顧問
東大阪珠算協会 常任顧問
東大阪美容師会 顧問
……など

現場主義をつらぬき常に考え行動あるのみ
日本そして東大阪のためになにができるのか

お声を聞く、届ける。私の「挑戦」

政権の安定と政策の継続

まず、政権の安定と政策が継続することを示す必要があります。事業の予見可能性を高めることで、民間の投資を引き出し、計画的な事業運営が可能となります。

また、公共事業（発注）を計画的に進めることで、民間の投資を引き出す必要があります。こうしたことを実現するには、政権の安定が不可欠です。

政府の支援策を津々浦々まで

政府の支援策はすべての企業が対象ですが、政府だけで包括するのは限界があります。補助金等を効果的に小規模事業などへ普及させるため、都道府県や市町村、商工会議所等の更なる協力が必要であり、機能強化を図る必要があります。また、小規模事業者が使いやすい仕組みを導入すべきです。

不安定な政権運営

トランプ関税の影響や少数与党となったことで先行きが不透明となり、多くの分野で安定的な発注が減っています。また、短期間で納期や高い品質を要求されることから、設備や体制の整った企業への発注に偏ってきています。発注が安定しないと設備投資ができず、人が雇えないなど、小さな企業にとって厳しい状況が続いています。

価格転嫁が追いついていない

人件費、加工賃、技術料が世の中の物価高騰のスピードに追いついていません。大企業は価格転嫁により利益を上げていますが、下請けの企業への価格転嫁は不十分です。特に2次下請けから先への価格転嫁が進んでおらず、賃上げが進まないのは当然です。

政府の支援策が行き届いていない

ものづくり補助金や事業再構築補助金などの政府の支援策は、情報を知っている企業や申請する体制が整っている事業者は活用ができていますが、比較的規模の小さな事業者には行き届いておらず、活用機会を失っています。

価格転嫁のさらなる強化

政府は賃上げよりも、下請け企業への価格転嫁に力を入れるべきです。価格転嫁が下請け企業に浸透すれば、中小企業での賃上げが進み、人材獲得、育成が進み、競争力が強化されます。そうすることで、様々な階層で、経済の好循環が生まれます。

社会保険料を下げる

中小・小規模事業者、被雇用者にとっても社会保険料の負担は相当な重荷となっています。

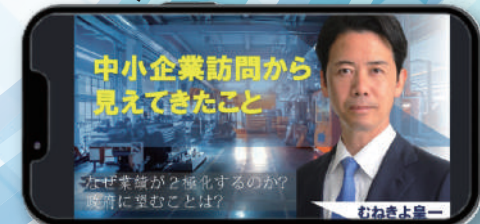
物価上昇率に賃金が追いつくまでの間、社会保険料を下げることであれば、賃上げや設備投資の資金確保ができます。賃上げを促進することで、事業者の人手不足の解消にも繋がります。

厳しい環境で頑張っている中小企業のお役に立てるよう、政府や党本部に対して、私なりに**原因**を探り、**解決策**を提案してまいります。

詳しくは
YouTube



チャンネル登録をお願いします！



公式
LINE



公式
SNS

